

ベトナム国内企業について

岡山県ベトナムビジネスサポートデスク

1. ベトナム国内企業の国際化について

ベトナムのWTO加盟はベトナム企業に発展の機会をもたらしたものの、困難が伴うのも事実です。ベトナム企業は市場経済の中、日々厳しくなる要求と国際経済への参入による圧力に直面しています。国際経済に加わった結果、技術や財務能力がより高い外国企業との競争、国際的な厳しい貿易条件や法律への対応など多くの課題が生じています。

ベトナムの社会主義向け市場経済への転向後、各企業は、雇用創出などを通じて、ベトナム経済をより活発かつ効果的に発展させることに多大な貢献をしてきました。多くのベトナム企業は国内市場で着実に発展し、世界市場にも活動を伸ばしています。国際市場におけるベトナムのマーケットシェアは拡大し、ベトナム製品の世界各国における信用度は確実に上がってきています。それでは、ベトナムの代表企業をいくつか紹介いたします。

<Viet Tien 縫製総会社 (Viet Tien Garment Joint Stock Corporation) >

Viet Tien 縫製総会社は国内縫製産業の代表企業ランキングの第1位に位置しています。同社は1995年にベトナム繊維グループ付属Viet Tien 縫製会社の再編に基づいて設立され、2007年に株式会社として正式に発足しました。ベトナムにおいては浸透率が非常に高いブランドです。主な事業は各種の衣服の生産、販売であり、その他にも輸出入サービス、物流なども行っています。

<南部水産輸出入株式会社 (Danang Seaproducts Import-Export Corporation) >

南部水産輸出入株式会社は毎年の売上が1兆ベトナムドン以上で、水産物を製造、販売、輸出するベトナム最大の企業の一つです。同社はベトナム通産省が選ぶ威信ある輸出企業に5年連続で選ばれており、現在はベトナムのトップ500企業から成るクラブの構成員です。主な事業は水産物の生産、製造及び輸出、水産栽培フードの生産及び販売、倉庫業及び輸入物資の販売などです。適用している品質管理システムはISO 9001:2000、HACCP、BRCなどです。

<北部食糧総会社（Vietnam Northern Food Corporation）と南部食糧総会社（Vietnam Southern Food Corporation）>

北部食糧総会社は政府の1995年5月24日付け決定No.312/TTgによって第一中央食糧総会社付属各企業の再編に基づき設立された国営企業です。同社は各種の食糧、農産物の生産及び販売、管理をしており、政府に対して国家食糧公安確保の責任を負っています。同じ業界では、1975年に設立された南部食糧総会社は食糧、農産物、水産物、農業設備及び物資、建設及び不動産など経営する国営総合企業であり、最近同社は様々な変化を経つつ急速に発展しています。両社はベトナム最大の米の輸出企業であり、合計の輸出量は全国の輸出量の60%以上を占めています。

<Petro Vietnam>

1995年5月にベトナム石油グループがPetro Vietnamとして正式に設立されました。同社の事業活動はベトナムの石油工業のすべてのセクターをカバーします。事業内容は石油の調査及び開拓、石油製品の製造・販売・物流です。同社は、ベトナム国内の他、ロシア、マレーシア、インドネシアなどの海外拠点での石油調査及び開拓に関する複数のプロジェクトも実施しています。

<FPT ソフトウェア（FPT Software）>

FPT ソフトウェアは、現在はベトナム最大手のIT企業となっているFPT コーポレーションのソフトウェア事業部として1988年に創設され、2004年に株式会社として正式に設立されました。主な事業はソフトウェア開発や保守、ERP 展開、QA テスト、組み込みシステム開発、ビジネスプロセスのアウトソーシングなどです。認証される規格はCMMI レベル5、BS7799-2:2002、ISO9001：2000 及び ISO27001：2005 などです。世界各地の拠点はFPT ジャパン、FPT アジア太平洋、FPT アメリカ、FPT ヨーロッパ、FPT マレーシア、FPT オーストラリアなどがあり、多岐にわたる事業展開をしています。

<No.1 部品機械責任有限会社（社名英語表記なし、ベトナム語では Công ty Phụ tùng máy số 1）>

国内の裾野産業の中にあつて、No.1 部品機械責任有限会社は新設備に投資したり、生産技術の改善を徹底したりして、著しい成長を遂げた会社です。動力機械や農業機械の部品などの主要製品を提供する他、同社は現在バイク部品の生産及び販売を拡大しています。同社は毎年数千万種に及ぶ部品を生産し、VMEP、YAMAHA、SUZUKI などの有名なバイク企業に提供しており、特にベトナム・ホンダと強いパイプを有しています。同社の製品の質はスペインの企業管理者向け雑誌で“グローバル・プロダクト”として認められるほど高いものとなっています。

このように、世界的な不況の中にあっても、高い成績を挙げたベトナム企業は少なくありません。世界経済が回復しつつある現在、特に縫製企業は将来の発展に向けての投資など、積極的に準備しています。また、ベトナム企業は WTO 加盟を受け、経営の効率化を遂げるため、自分たちの力を生かすほかに、経営環境の現状をよく分析し、さらなるビジネスチャンスを探っています。

## 2. 各業界について

### <縫製業及び革靴業>

縫製業及び革靴業はベトナムの重要産業です。現在この二つの産業は 300 万人の労働者を雇用しており、将来さらに発展していくと見込まれています。2009 年の世界同時不況の中にあっても縫製業はベトナム最大の輸出産業としての地位を維持し、世界の縫製品輸出国ランキングの第 5 位に位置しています。また、米国に代わって日本が第 1 位の輸出先となりました。繊維業界は付加価値がより高い製品の生産に向かっており、2010 年の売上を 105 億米ドル、2015 年には 160~180 億米ドルへと増加させることを目指し、努力しています。

### <水産業>

長年、ベトナムの水産業は発展の潜在力があり、ベトナム経済の輸出総額の拡大に重要な役割を果たす産業であると評価されています。現在ベトナムの水産物製品は世界 150 か国に輸出されています。世界ランキングでは、ベトナムは、水産品輸出で世界第 6 位、養殖量で第 5 位、開発量で第 12 位に位置しています。水産業界では、2010 年に水産開発量 230 万トン、養殖量 280 万トンという目標の達成を目指しています。

### <農業>

ベトナム農業はこの 20 年間にわたって着実に発展を遂げ、ベトナム経済において重要な役割を果たす産業になりました。また、国際市場での立場も確立しつつあります。現在、ベトナムの米輸出量は世界第 2 位に、胡椒輸出量は第 1 位に、コーヒー輸出量は第 2 位にランクインしています。この輸出量を維持または増加できるよう、ベトナム農業界は世界市場の変動に細心の注意を払わなければならない、その変動に対応するためには、適切な政策が必要です。

### <原油・石油>

ベトナムは原油を輸出して完成品のガソリンおよび石油を 100%輸入する国です。ところが、ベトナムの原油備蓄は多くなく、東南アジア第 4 位にランクされています。今後、原油輸出への依存率を調整するため、ベトナム石油産業は複数の石油精製工場を稼働させる予定です。将来の原油開発量は減少しつつあるという見込

みですので、同業界は原油開発及び販売だけではなく、海外に進出したり、石油・ガスに関するサービスの売上を増加したりすることを目指しています。

#### <IT>

この数年、ベトナムのIT産業は急速に発展しています。現在、ベトナムは、国際電気通信連合（ITU）の発展速度ランキングで154か国中92位に位置しています。一方、ベトナムIT企業の売上は非常に少なく、そのほとんどが外資企業に属しています。また、登録上はベトナムには約1万のIT企業がありますが、実際に活動しているのは約3千とされています。国内IT産業は「ベトナム製」のソフトウェアを作りたいと考えており、インド、中国、韓国、日本といったレベルが高い市場への人材派遣等を通じて人材の教育に力を入れ、世界の近代技術を学習しながら、国際市場への進出を目指しています。全体を見ると、ベトナムのIT産業はまだ若く、潜在性がある業種と言えます。

#### <裾野産業>

現在、ベトナムの産業のうち約30の産業は裾野産業に依存しており、その中には輸出品を生産する産業が多数を占めています。それにもかかわらず、ベトナムの裾野産業はまだ発展していません。裾野産業が持つリスクや問題点は、規模が小さいこと、技術が旧式なこと、マネジメント能力の不足、資金及び事業用地へのアクセスが困難なことや、大企業との付き合いが緊密ではないことなどです。裾野産業は日本を中心とした諸外国と協力しており、これまで、約1,400に上る日系企業が生産や技術供与、や人材教育などの分野に投資しました。